

○ 11月19日(火)

## 小中学校スクールミーティング(向日市立向陽小学校)

---



### ○ 安藤 委員

総合的な学習の時間で向日市の特色である「ふるさと学習」の取組を拝見いたしました。

「向日市博士になろう」というテーマのもと子どもたちが選んだ課題は、参道が通学路にもなっている神社、町にある「橋のオブジェ」や向日市の「お祭り」、また「竹の径」にちなんだ「かぐや姫伝説」など、子どもたちの興味も幅広く、身近な地域の暮らしに関心をもって意欲的に取り組んでいる姿がとても生き生きとして楽しそうに見えました。

子どもたちが作ったポスターや発表からは、グループで深めた考えや、「こんなことがわかった」「ほかのひとにも伝えたい」など、実際に見たり聞いたりした体験活動から新しい発見や喜びが感じられ、教室だけでは味わえない充実感が伝わってきました。また、手作りの角帽をかぶり博士になりきって発表するなど、他者の発表にも耳を傾けられるような視覚的工夫もあり、どの子どもも友達の発表に関心をもって聞いているのが印象的でした。

この学校では、総合的な学習の時間に限らず、ユニバーサルデザインの考えを取り入れた授業改善・授業力向上に取り組んでおられ、授業の中でも随所にその取組の事跡が見られました。スクールカウンセラーや「まなび・生活アドバイザー」とも連携し、その学級にあった学習計画をたてるなど、「子どもたち一人一人が活躍できる場」「どの子どもも安心して学べる」学級・仲間づくりを大切にしているのがよく伝わってきました。また、こどもの安心・安全な学校生活を支えるPTAや地域団体との信頼関係も充実していて、保護者・地域・学校が一体となった「チーム向陽」の連携体制に温かさを感じることができました。

向日市には歴史的文化財も多く、現地見学、体験活動、聞き取り調査など、調べ学習において地域の文化財が生きた教材としてたくさんあります。実際にその場所に行き調べてみるとさまざまな発見があり、考えもしなかったことが見えてきます。五感をフルに使って先生と子どもと一緒に学べる、教室では学べない心の教育ができる「ふるさと学習の良さ」を改めて感じました。